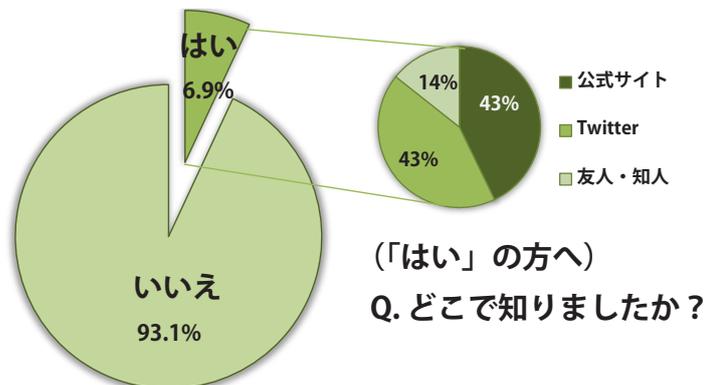


## 『ニッチェ・ライフ』アンケート @ 第1回博物ふえすていばる!

2014年8月9-10日にかけて、博物ふえすていばる!内ブース(No.67)にて、『ニッチェ・ライフ』誌や博物ふえすに関するアンケートを実施し、87名の方にご回答をいただきました。アンケート結果は以下にまとめた通りです。今後、頂いた意見等をもとに、誌面の質の向上に努めます。ご協力頂いた皆様には、この場を借りて感謝の意を表します。

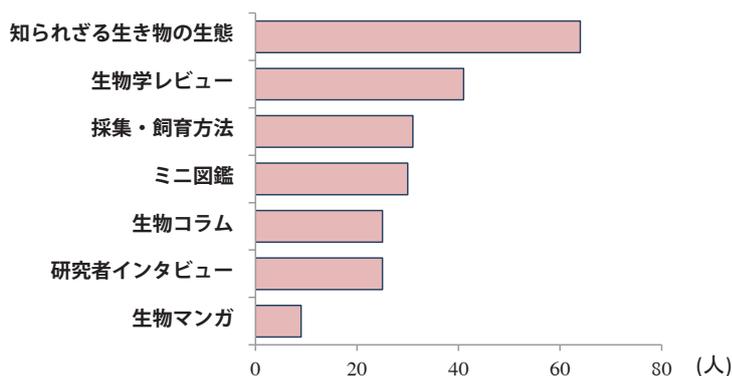
### Q.『ニッチェ・ライフ』をご存知でしたか?



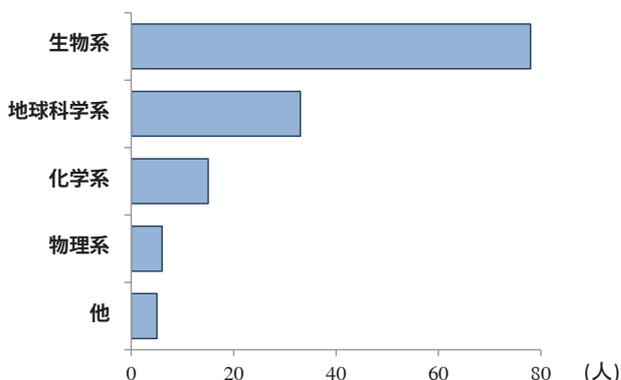
まだまだ無名の本誌に対して、約7%の方が「知っていた」と回答。公式ページやツイッターでの紹介がきっかけの中心になっているようだが、今後「友人・知人からの紹介」を少しづつでも増やせるようにする取り組みが重要になりそうだ。なお、これまで知らなかったが、博物ふえすをきっかけに知った、という回答も少なからず頂いた。

### Q.『ニッチェ・ライフ』で読みたい記事は?

複数回答可の項目だが、最も支持を集めたのは「知られざる生き物の生態」。知名度が低くても面白い生き物の記事が本誌に求められている、と改めて感じた。具体的にこの生き物の記事を!という意見も多く寄せられていた。次いでレビューや採集・飼育方法、図鑑などが並んだ。英語の文献などで扱われた内容を、わかりやすい日本語記事で紹介してほしいという意見もあり、専門家と一般の方の間をつなぐ役割を担うという方向性をさらに推し進めていきたいところだ。

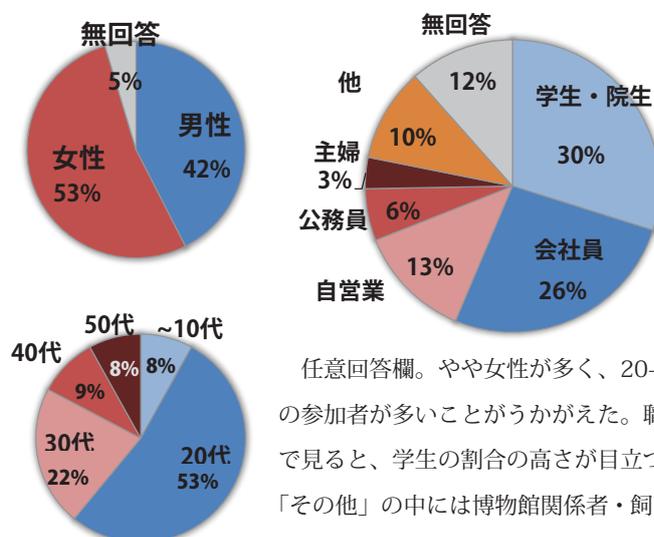


### Q.好きな『博物』は何ですか?



複数回答可。生物に関心のある人が大多数だが、本ブースを含む多くのブースが生物系であったことが要因だろう。各分野の自由記入欄には、プランクトン、古生物、哺乳類、鳥類、爬虫類、魚類、昆虫、植物、菌類、細菌、生態学、炎色反応、鉱物、量子論、力学、宇宙、有機化合物、実験器具などの回答があり、関心の対象は極めて多様であった。

### Q.あなたについて教えてください。(性別・年代・職業)



任意回答欄。やや女性が多く、20-30代の参加者が多いことがうかがえた。職業別で見ると、学生の割合の高さが目立つ。「その他」の中には博物館関係者・飼育員・お笑い芸人など多彩な職業の方が含まれ、来場者の多様性の高さを象徴していた。